

居合道だより

令和7年1月

第222号

2025





はじめに

福岡県剣道連盟居合道部 会長 井手 友太

新年明けましておめでとうございます。

昨年元旦、能登半島を襲った大地震。その後の豪雨災害、観測史上最も長くて過酷な暑さが続いた夏。

世界に目を移せば、ウクライナやガザ地区等の現実とは思えないような悲惨な戦況。

本当に痛ましい出来事ばかりが続いたが、大谷翔平選手の大活躍、被団協のノーベル平和賞受賞という明るい話題も有った一年間だった。

拙道場は1年間の目標を掲示板に貼っている。去年は「感謝」だった。

普通に生活できて居合も出来る境遇を当たり前とは思わず、周りの人々や自然にさえも感謝の気持ちを持って過ごしていきたいとの思いからであった。

いつ終わるとも知れない暑さが続いていたある日、その「感謝」の文字の横に「負けない 泣かない 逃げない」と書かれた紙が貼られていた。たぶん少年剣道指

導者だろう。目にした途端、何かが一瞬脳裏をよぎった。

若かりし頃、窓を開けばなして一人稽古をしていると、突然の雷鳴とともに大粒の雨が道場内に吹き込んできた。それを浴びた瞬間なぜか急に荒ぶる感情がわき上がってきた。そのときの光景と匂いまでもが蘇ってきたのである。

そろそろ次年度の準備をと思っているとき、やっぱりこれだ！「負けない 泣かない 逃げない」だ。これはけっして子供達に限ったことではないではないか。

しかし今更この歳でと弱音も顔を出す。そこで「負けてもいいじゃないか 泣いてもいいじゃないか 逃げてもいいじゃないか」ではどうだろう。

何か新しいこと、若いときにやりたかったこと、やれなかったことに挑戦してみようかな。前向きの気持ちが湧いてきた。

そんな訳で今年のスローガンは「挑戦」と決定。

誰のものでもない、自分だけの大きな夢とか、ちっぽけな目標でも。

挑戦してみよう。皆さんもそういう新たな気持ちで。

剣友の皆さんをはじめ世界中の人々が、小さくても希望を持って少しでも多くの平穏や喜びが訪れる一年間でありますように。



六段昇段顛末記

若松居合道同好会 高井 正敏

去る 11月 30日 江戸川スポーツセンターでの居合道六段審査に合格させて頂きました。

津村先生はじめ諸先生方には熱心にご指導いただき深く感謝致しております。特に川路先生には居合の面白さを教えて頂き大変勉強になりました。ありがとうございます。

この5年間はコロナにかまけて居合から遠ざかり、歳をとったことも相まって体のバランスが悪く、こんなはずではなかったと後悔先に立たず。でも、腹を括って稽古に励みました。

制定居合を 1からやり直すことで新たな気付きに「目から鱗」ということが何度もありました。新しい発見に喜び、楽しさも感じました。結果なんとか 11月に入って一応の格好はつきましたものの今度は原因不明の体調不良。熱・咳に苦しみ、やっと 2日前に回復し、東京に乗り込みました。

会場では緊張が極限に達し、あたかもこの場が「全日本居合道大会?!」という錯覚に陥りました。

私は高齢者順の 8番目で前の 7組を見ている内に錯覚から目を覚ましました。ジェームス君はどこにもいない。そこにいるのは自分と大差ない技量の人たちだと我に帰り緊張がスウーッと引いて落ち着きを取り戻すことができました。

「刀をしっかり振る」この一点だけを念じて臨みました。

以上が顛末です。この上は立派な?!六段目指してボチボチ楽しくやっいていこうと思います。長生きできれば七段にも挑戦したいものです。最後になりましたが、今一度、ご指導くださった先生方に深く感謝する次第です。また福岡武道館居合道部の皆様には快く稽古場を使用させて頂きその上貴重なアドバイスも頂戴し深謝いたします。

六段昇段に際して

千代剣友会 安本 誠一

昨年 11月 30日に東京で開催された六段審査を受審し、合格をいたしました安本と申します。

思い起こせば、平成 20年 9月に開校された居合道教室に木刀を振ったこともないのに参加をしたのが、私の居合道の始まりです。

(右写真は居合道教室閉校式のときの切り抜き写真です)



その居合道教室で「守・破・離」のお話を聞き、とても感銘を受けた記憶があります。その「守」をこれまで積み重ねてきた結果が六段審査の合格につながったのではないかと感じています。

審査会では単に居合が上手、うまいということだけを審査委員の先生方は審査されているのではないような感じがしました。それゆえ、居合道講習会や地域稽古会に積極的に参加をし、普段教わる先生と違った先生にもご指導を頂き、自ら吸収できるところを吸収し、型だけでなく居合道の考え方も素直に学んでいくことが合格の近道ではないかと考えます。

最後に、ご指導を頂いた多くの先生方に深く御礼を申し上げ、さらに次の目標に向かって精進努力を続けてまいりますので、今後のご指導を宜しくお願いいたします。

六段昇段に際して

明德館道場 古賀 重治



この度 79歳11ヶ月で六段に昇段させて頂き嬉しく思っています。これも偏に指導して頂いた師匠や同門の方々のお陰です。

審査を受けるに際し師匠からの指導は次の5項目でした

- ① 3年前から準備する事
- ② 制定12本の中で不得意技を無くし、制定は全て得意技にする事
- ③ 稽古する時は毎回ビデオを撮影し自分の欠点を自分で見つける事
- ④ 年相応の居合を心がけ 品位、風格、気位を身に着ける事
- ⑤ 健康基礎体力を維持する事

稽古が進むにつれ『自分が出来ないのはなぜ?』 どうして?それは『理合を知らないからだ』と気付きました。今までは ただ言われるままに 自分勝手に練習していただけ、それからは、形を覚えたら理合を覚えそれに合った形になる様にしました。

自分なりに 着付け 礼法作法 審査上の着眼点は全てクリアーしたので大丈夫!と自信を持っていましたが、審査が近づくにつれ不安が募りました。そんな折、審査前の講習会に参加した時会長から『古賀さんは今の風格を持って審査に臨めば大丈夫』と励ましの言葉を頂きました。この一言で肩の力が抜け自然体で審査に臨めました。

これからは、師匠から常々言われている、今の年齢風格に合う居合を目指し『美しい居合、枯淡の美』を心がけ日々稽古に励み、居合道普及活動を続けて行く所存です。

1月・2月の予定

1月 12日(日)	福岡県居合道部初稽古会	福剣連	福岡市総合体育館武道場
1月 26日(日)	地域稽古会	居合道部	宗像

編集後記

明けましておめでとうございます。皆様お風邪などひかれておられませんでしょうか？今年巳年ということでございますが、知恵、器用、魅力を表し、運氣向上と成功の到来の象徴ということらしいです。

☆笑う門に福来る＞落語にも「蛇含草」や「そば清」などにもウワバミという大きな蛇が出てまいります。蛇が人間様を丸呑みにした時にお腹を整えるために草を食べるとお腹がへっこむのを見て「あーあれは消化剤だ」とその草を積んで、大食いする時にその草を食べながら・・・というやつですね。ぜひお正月の一笑の小話にいかがでしょう。

☆大泣きしても福来る＞北九州では篠崎八幡宮の蛇の枕石なるものがあるそうで、恋に悩む方や子供の夜泣きに悩まれる方に御利益があるそうです。昔話はとてもロマンチックなものです^^初詣に行かれるとご利益も2倍3倍と・・・

私も初詣は「家の神棚、仏壇」から「氏神様」「聖天様」と続きます。

☆笑っても泣いても福（岡）来る＞3月の全国各流居合道北九州大会も前回同様に多数の参加者が申し込まれ、日本全国から福の神様が福岡の北九州にお集まりいただけるようでございます。大会の結果は悲喜交々ございませうが、楽しく運営できるようにスタッフ一同が全力で計画中でございます。

今年も何卒よろしく願いいたします。

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第221号 令和7年1月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田 36 番地 -1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社 FEW